

令和5年1月24日(火) 晴 No. 25



▲優良職業人表彰を受けられた皆様と

### 会長の時間

会長 芝本 忠雄

皆さん、こんにちは。

ここしばらくは1月にしては比較的暖かく過ごしやすい日々が続いておりましたが、明日より10年に一度という大寒波が到来するとのことですので、気を付けて備えて戴ければと思います。

さて、本日は今月の職業奉仕月間に合わせて、「優良職業人表彰」の受賞者をお迎えしております。受賞者のみなさん、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

ロータークラブの運動には、5大奉仕があります。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、クラブ奉仕とありまして、この中の職業奉仕の一環として、この優良職業人表彰を行っております。選考基準を定め、メンバーに対し対象者の選考を依頼し、推薦戴いたみなさまです。選考基準は、

①加古川ロータークラブでの会員の従業員で下記のいずれかに該当する方。

a) 企業内、事務所等で仕事の成果が優秀と認められる従業員。

(原則として勤続10年以上の従業員)

b) 職業奉仕を実践し、地域社会に貢献されている従業員。

c) 障がい者の方で、障がい克服して仕事を立派に果たしている従業員。

②加古川ロータークラブの会員の従業員以外の方で、地域社会で職業奉仕を  
実践し、地域社会に貢献されている職業人の方。

となっております、その対象者として推薦戴き、この度の表彰の運びとなりました。

この機会にロータークラブの職業奉仕について説明させて戴きます。

ロータリークラブの目的の第2条に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会の奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。」とあります。メンバー各自の職業を通じ社会貢献することを職業奉仕と呼び、その高い倫理感、高潔さを得るために、言行を「4つのテスト」に照らし合わせて行おうとするものです。

一つ、真実かどうか。二つ、みんなに公平か。三つ、好意と友情を深めるか。四つ、みんなのためになるかどうか。の4つです。この4つのテストを行動規範としています。

そして「超我の奉仕」を実践することです。「超我の奉仕」とは、「サービス第一、自己第二」、つまり「利他の心」です。また、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」と言われています。「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」この2つのモットーを掲げ行動するのが、ロータリアンです。

本日を機にロータリークラブの活動に対し、理解を深めて戴ければ、幸いです。

以上で会長の時間を終わらせて戴きます。

本日もよろしくお願い申し上げます。

### 幹事報告

- 1) 神戸モーニングRCの地区補助金プロジェクトのご案内をテーブルに置かせて頂いておりますので、テーブルにて回覧してください。  
また、地区より、国際ロータリー第2680地区ローターアクト『2022-2023年度青少年交流会』のご案内を回覧します。どちらも参加ご希望の会員がいらしゃいましたら、事務局までお知らせください。
- 2) 今週28日(土)は東播第2グループI. M. です。場所はウエディングパレス鹿島殿、午後3時～講演会、午後4時50分～式典・懇親会となっております。  
送迎バスは加古川駅北ロータリー午後2時出発です。ご出席予定の皆様、よろしくお願いいたします。
- 3) 本日例会終了後、この例会場に於いて第1回70周年準備委員会を開催します。

### ニコニコ



- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 省 | 略 | ☺ | 優良職業人表彰受賞のみなさま、ご授賞おめでとうございます。                 |
| 省 | 略 | ☺ | 河合会員、先日の地区環境の保護小委員会お疲れさまでした。                  |
| 省 | 略 | ☺ | 優良職業人表彰受賞の皆様、おめでとうございます。                      |
| 省 | 略 | ☺ | 謹賀新年 今年もどうぞよろしくお願い致します。                       |
| 省 | 略 | ☺ | 当社、田中社員が優良職業人表彰を頂きました。ありがとうございます。             |
| 省 | 略 | ☺ | 本日優良職業人表彰を受けられる皆様おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 優良職業人表彰をお受けになる皆様、本日は誠にありがとうございます。             |
| 省 | 略 | ☺ | オークラGr社員へ優良職業人表彰をいただき、ありがとうございます。             |
| 省 | 略 | ☺ | 弊社の社員が本日表彰していただきました。ありがとうございます。               |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。                                 |

以上10件 ¥26,000-  
本年度累計¥1,213,000-

## 出席委員会

☆ 今 週 会員数 72 名 出席 40 名 出席免除 15 名 欠席 17 名  
 ☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 72 名 出席 45 名 出席免除 13 名 欠席 14 名  
 ☆ ゲ ス ト 優良職業人表彰を受けられた6人の皆様  
 ☆ メークアップ 第3回 環境の保護小委員会 1/21 芝本、河合

## 親睦活動委員会

例会場当番

1月28日(火) 高浜、松尾

1月31日(火) 瀧川、水川



## プログラム委員会

本日1月24日(火)	1月28日(土)	1月31日(火)	2月7日(火)
優良職業人表彰 職業奉仕委員会 担当	東播第2グループI. M. 午後3時～ 於;ウエディングパレス鹿島殿 (2月14日の例会変更日)	新会員自己紹介 古庄担当	卓話 「特許を取得した 適正ハブラシ 『テキアツ君』 中原担当

本日1月24日(火)



下記の優良職業人を表彰しました。

オークラサービス株式会社	浪越 典幸
オークラ輸送機株式会社	中本 利浩
株式会社神戸製鋼所	
加古川製鉄所	村上 聡
SHOWA GROUP 株式会社	田中 友明
多木化学株式会社	神菌 秀樹
ハリマ化成株式会社	吉本 康秀

以上6名敬称略・順不同

「世界に希望を生み出そう」とマッキナリー氏が呼びかける

RI 会長エレクトが 2023-24 年度会長テーマを発表

記事 **Etelka Lehoczky**

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ(スコットランド)の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

### 平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去 1 年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去 1 年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年 5,000 万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの 2 倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約 12 人に 1 人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

### メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人々が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」